

Robotics & Mechatronics

ロボティクス・メカトロニクス部門ニュースレター No.38

October, 2006



日本機械学会
ロボティクス・メカトロニクス部門



日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞・部門一般表彰 日本機械学会フェロー賞(若手優秀講演) —第83期—受賞者のご紹介

1. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞

日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門では、ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の3賞を設けております。

(1) 部門功績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で、研究、教育、学会活動の面で多大の影響を及ぼし、国際的評価が高く、かつ有力な著書、論文などを著している個人に贈る。

(2) 部門学術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある学術業績を挙げた個人に贈る。

(3) 部門技術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの

分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体(法主体)に贈る。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会(委員長は副部門長が担当)が部門賞候補者の中から日本機械学会部門賞通則第5項に基づく人数以内を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものでございます。

<部門賞候補者の推薦方法及び時期>

部門賞の受賞候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門賞募集は公募によるものとし、推薦ま

る平成18年5月27日(土)に、早稲田大学で開催されましたロボティクス・メカトロニクス講演会2006にて、昨年度の功績・業績を讃えまして各賞の表彰式が行われました。また、日本機械学会フェロー賞(若手優秀講演)につきましても、この場をおかりしてご紹介させていただきます。

(注)各賞の細部につきましては、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門ホームページ(<http://www.robomec.org/>)の運営委員会「部門賞規定」をご覧ください。

たは本人よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示致しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっております。

<受賞者のご紹介>

表彰名	主な功績・業績	受賞者
部門功績賞	第79期ロボメカ部門長として、学会活動に多大な貢献をするとともに、メカトロ教育への貢献	水川 真(芝浦工大)
	第82期部門長として、ロボメカ部門の運営に貢献	大築康生(新産業創造研究機構)
部門学術業績賞	ヒューマノイドロボットの研究開発業績	横井一仁(産総研)
部門技術業績賞	サービスロボット「ワカマル」の開発商品化	三菱重工業(株)
	レスキューロボット、セキュリティロボットなどの実用化と実フィールドへの適用開発	(株)テムザック

2. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の3賞を設けております。

(1) ROBOMECH表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門主催講演会・シンポジウムなどにおいて、研究内容に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(2) ベストプレゼンテーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、プレゼンテーション面に対して高い評価を得た個人に対して行う。

(3) 部門貢献表彰

部門への著しい貢献が認められる

個人、または団体に対して行う。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門表彰候補者の中から適格者を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものでございます。

<表彰候補者の推薦方法及び時期>

部門一般表彰の表彰候補者は原則として日本機械学会会員とします。ベストプレゼンテーション表彰は当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会の実行委員会が候補者を選考し、開

催日から5ヶ月以内に表彰委員会に推薦致します。ROBOMECH表彰、及び部門貢献表彰候補者は公募によるものとし、推薦または本人よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示致しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっております。なお、ROBOMECH表彰で対象とする講演会・シンポジウムは前年度の10月1日以降、当該年度の9月30日までに開催されたものとなっております。

<受賞者のご紹介>

表彰名	論文題目(講演番号)	受賞者[著者]
ROBOMECH表彰	腕脚統合型ロボット「ASTERISK」の開発 (ALL-N-004)	田窪朋仁, 新井健生, 井上健司, 梅谷智弘(大阪大), 林原靖男, 小柳栄次(桐蔭横浜大)
	Open MRI下胎児手術支援システムの開発(第一報) (2A1-N-118)	原田香奈子, 岩瀬 健太郎, 坪内 広太, 千葉 敏雄(国立成育医療センター), 岸 宏亮(早稲田大, 日立), 藤江 正克(早稲田大)
	光ピンセットによる微粒子の3次元6自由度操作 (2P1-N-079)	新井史人, 遠藤稔明, 山内龍次, 福田敏男(名古屋大)
	ポアンカレマップ内に存在するフィードバック構造に着目した受動的歩行の安定解析(2A1)	杉本晴博(京都大), 大須賀公一(神戸大)
	接触力凸多面体に基づくヒューマノイドロボットの動作生成～第一報 接触状態遷移判定法(2A3)	比留川博久, 原田研介, 梶田秀司, 金子健二, 金広文男, 藤原清司, 森澤光晴(産総研)

表彰名	論文題目(講演番号)	受賞者[登壇者]	著者
ベスト プレゼンテーション 表彰	腕脚統合型ロボット「ASTERISK」の開発 (ALL-N-004)	田窪朋仁(大阪大)	田窪朋仁, 新井健生, 井上健司, 梅谷智弘(大阪大), 林原靖男, 小柳栄次(桐蔭横浜大)
	超多自由度可変柔軟脊椎骨格型ヒューマノイド「小太郎」開発概要(ALL-N-021)	水内郁夫(東京大)	水内郁夫, 吉海智晃, 袖山慶直, 中西雄飛, 宮寺明彦, 山本泰地, Tuomas Niemela, 安達隆介, 林摩梨花, 稲葉雅幸(東京大)
	身体運動時生理特性推定を目的とした筋骨格/人工筋/循環器の統合モデル(1A1-N-099)	仁田原千尋(奈良先端大)	仁田原千尋, 上田淳, 松本吉央, 小笠原司(奈良先端大)
	眼剛性計測へのチャレンジ(1P2-N-074)	飯田義親(広島大)	飯田義親, 川原知洋, 徳田寛一, 金子真, 杉本栄一郎, 塚本秀利, 三島弘(広島大)
	実時間可変弾性要素の開発(1P2-S-005)	梅舘拓也(名古屋大)	梅舘拓也, 岸弘朗, 山田泰武, 石黒章夫(名古屋大)

表彰名	主な功績・業績	受賞者
部門貢献表彰	第10回ロボティクス・シンポジウム実行委員長	國井康晴(中央大)
	ロボティクス・メカトロニクス講演会'05 (ROBOMECH2005) 実行委員長	田所 諭(東北大)
	ロボティクス・メカトロニクス講演会'05 (ROBOMECH2005) プログラム委員長	坪内孝司(筑波大)

3. 日本機械学会フェロー賞(若手優秀講演)

本賞は、グローバル競争時代を迎えて大学院学生および企業若手研究者の意識高揚のため、フェロー寄付金により設立するもので2004年3月より贈賞を開始しております。規定にもありますように本会講演会において優れた講演を行った学生員および准員に対して「フェロー賞(若手優秀講演)」として顕彰することによって若者に自信と誇りを与え、本会が若手の専門家を支援し、もって科学技術

創造立国のための人材育成に貢献することを目的としております。

表彰対象者は、日本機械学会の支部・部門等が主催する本賞を対象とすることを明記した講演会において、発表論文の共著者で且つ登壇し発表した者で、講演申し込み登録時に学生員および准員である者としております。なおポスター発表形式の場合もこれに準じます。ただし、試行期間におきましては、本賞を対象とすることを明記し

ていない講演会も対象となります。

ロボティクス・メカトロニクス部門では、昨年度から「日本機械学会フェロー賞(若手優秀講演)」(<http://www.jsme.or.jp/shou6.htm>)の試行に参加しております。対象は、ロボティクス・メカトロニクス講演会2005からとしており、栄えある第一回の受賞者の方々をご紹介します。

<受賞者のご紹介>

表彰名	論文題目(講演番号)	受賞者[登壇者]	著者
日本機械学会 フェロー賞 (若手優秀講演)	上半身駆動型準受動歩行ロボットの登坂実験 (2P1-S-045)	宝田恵太郎(東洋大)	宝田恵太郎, 秋元俊成, 松元明弘(東洋大), 松下光次郎, 横井浩史, 新井民夫(東京大)
	内視鏡手術シミュレータのための基礎データ取得 (2P1-N-115)	清水 聡(佐賀大)	木口量夫, 清水 聡(佐賀大), 山本元司, 長谷川 勉, 倉爪 亮, 小西晃造, 掛地吉弘, 橋爪 誠(九州大)

ロボティクス・メカトロニクス部門 表彰委員会からのお知らせ 2006年度表彰委員会委員長 浅間 一(東京大学)

ロボティクス・メカトロニクス部門には、表彰委員会という組織があり、様々な授賞推薦、表彰推薦を行っております。本部門がかかわる授賞、表彰の数は多く、日本機械学会会員、ロボティクス・メカトロニクス部門登録者は、これらの多くの賞を受賞する機会に恵まれていると言えます。ここでは、表彰委員会が関与する賞にはどのようなものがあるかご紹介しましょう。

【日本機械学会表彰】

日本機械学会には、学会賞(論文・技術・技術功績)・奨励賞(研究・技術)・教育賞という三つの学会賞があります。

【日本機械学会フェロー賞】

日本機械学会フェローから集められた寄付金により設立された賞です。ロボティクス・メカトロニクス講演会などで優れた講演を行った学生員および准員に対して顕彰します。

【日本機械学会船井賞】

財団法人船井情報科学振興財団から支援により、情報技術に関連する機械工学、物理工学、メカトロニクス、情報理工学分野に関わる国内の個人会員を表彰する賞です。

【日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞】

ロボティクス・メカトロニクス分野への顕著な貢献、功績に対して表彰するもので、功績賞、技術業績賞、学術業績賞などがあります。部門登録者数(第三位まで)に応じて表彰件数が制限されています。

【ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰】

本部門が主催および共催する講演会・シンポジウムでの優秀な講演に授与するROBOMECH表彰、ロボティクス・メカトロニクス講演会で高い評価を得たプレゼンテーションに授与するベストプレゼンテーション表彰、部門活動

に貢献した個人に授与する部門貢献表彰などがあります。

これら以外にも、ファナックFAロボット財団論文賞の推薦なども、表彰委員会で行っています。

日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ニュースレターNo. 38 (2006.10発行)	
編集	第84期広報委員会
委員長	内田 康之 (防衛庁)
副委員長	土居 隆宏 (中京大学)
幹事	酒本 晋太郎 (新菱冷熱工業株)
委員	高山 俊男 (東京工業大学)
委員	市川 純章 (諏訪東京理科大学)
委員	中村 幸博 (NTT サイバーソリューション研究所)
委員	相山 康道 (筑波大学)